

令和5年度 第3学年 音楽 評価規準

江戸川区立大杉第二小学校

3年 p. 2～3

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
＜導入＞ 「小さな世界」 (随時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「小さな世界」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や伴奏を聴いて、「小さな世界」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「小さな世界」の旋律の流れやその変化、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞の持つメッセージを歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「小さな世界」の歌詞の持つメッセージを、歌にのせることに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

3年 p. 4

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽	鑑賞
＜スキルアップ＞ 「ア ラム サム サム」 (毎時扱い)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「ア ラム サム サム」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて「ア ラム サム サム」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「ア ラム サム サム」の旋律の重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「ア ラム サム サム」を声を合わせて歌うことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜スキルアップ＞ ＜リズムなかま＞で 楽しもう！ (毎時扱い)	知識	リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付く。	＜知-①＞ リズムの重なりの特徴について、その生み出すよさや面白さなどと関わらせながら気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ リズムの重なりを聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりのある音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ リズム遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	づくり 音楽	鑑賞
＜にっぽんのうた みんなのうた＞ 「春の小川」(共通教材) (2時間扱い・4月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「春の小川」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で「春の小川」を歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「春の小川」の旋律の流れやそのまとまりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「春の小川」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
楽ふとドレミ (4時間扱い・4～5月)	知識	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と音階など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付ける。	範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	旋律や音の重なり、音階を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	ハ長調の視唱視奏や輪唱輪奏による旋律の重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜にっぽんのうた みんなのうた＞ 「茶つみ」(共通教材) (2時間扱い・5月)	知識	旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復や、休符の効果、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの歌声や伴奏を聴いて、「茶つみ」を声を合わせて歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「茶つみ」の旋律のもつリズムの反復を聴き取り、その働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 「茶つみ」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜こんにちは リコーダー＞ (2時間＋毎時・5～6月)	知識	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ リコーダーの音色と「シシシでおはなシ」の演奏の仕方との関わりに気付いている。		○		
	技能	音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴いて音を合わせて演奏する技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音色や響きに気を付け、互いの音や伴奏を聴き音を合わせて「ゆかいなまきば」を演奏する技能や、設定した条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けている。		○	○	
	思考・判断・表現	リコーダーの音色、旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いたりする。	＜思-①＞ リコーダーの音色、各曲の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、リコーダーの演奏のよさを見いだして聴いている。 ＜思-②＞ リコーダーの音色、「にじ色の風船」の旋律を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		○
	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
歌声ひびかせて (2 時間扱い・7 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			○
	技能	呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。	呼吸及び発音の仕方に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能、ハ長調の楽譜を見て歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	旋律のもつリズムや流れ、歌声を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	旋律の特徴を生かした歌唱表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			○

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 いろいろな声で 表げんして遊ぼう (3 時間扱い・7 月)	知識	さまざまな声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付く。	〈知-①〉 さまざまな声の出し方やつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどと関わらせて気付いている。			○	
	技能	設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 設定した条件に基づいて即興的に声の出し方を選択したり、音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりする。	〈思-①〉 声の音色や高さ、強弱、長さなどを聴き取り、それらが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、即興的に表現することを通して音楽づくりの発想を得たり、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	声による表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 声による表現の工夫に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
くにっぽんのうた みんなのうた＜ 「うさぎ」(共通教材) (1 時間扱い・9 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	＜知-①＞ 「うさぎ」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	＜技-①＞ 呼吸や発音の仕方に気を付けて、「うさぎ」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ 「うさぎ」の旋律の流れを聴き取り、その働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ 季節との関わりや曲想に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜めざせ 楽き名人＞ 「かえり道」 「レッツゴー ソーレー」 (毎時扱い・9月～)	知識	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付く。		○		
	技能	互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。	＜技-①＞ 互いの音を聴きながら演奏する技能や、条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付ける。 ＜技-②＞ 互いの音や伴奏を聴きながら「レッツゴー ソーレー」を演奏する技能を身に付ける。		○		
	思考・判断・表現	音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たりする。	＜思-①＞ 音色や「レッツゴー ソーレー」の旋律、伴奏の速度やリズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
せんりつの流れとへん化 (3時間扱い・9月)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色、旋律の反復と変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
遊び歌めぐり (4 時間扱い・10 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	拍に合わせて歌ったり遊んだりする技能を身に付ける。	拍に合わせて歌ったり遊んだりする技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりする。	旋律やリズム、拍やその流れ、速度を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかや遊ぶかについて思いや意図をもったり、曲のよさを見いだして聴いたりしている。	○			○
	主体的に学習に取り組む態度	日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	日本や諸外国の歌や遊びに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

〈コーナー名〉 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈にっぽんのうた みんなのうた〉 「ふじ山」(共通教材) (2 時間扱い・10～11 月)	知識	曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	〈知-①〉 「ふじ山」の曲想と、旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付ける。	〈技-①〉 呼吸及び発音の仕方、姿勢に気を付け、「ふじ山」を自然で無理のない歌い方で歌う技能を身に付けている。	○			
	思考・判断・表現	旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 「ふじ山」の旋律のもつリズムや流れを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 「ふじ山」の歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
曲に合った歌い方 (4 時間扱い・11～12 月)	知識	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想とフレーズなど音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、互いの声や音を聴きながら楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能や、互いの声や音を聴きながら楽器で副次的旋律を演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。	フレーズの反復や変化、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	○			
	主体的に学習に取り組む態度	曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜音のスケッチ＞ チャチャチャのリズムで遊ぼう (3 時間・12 月)	知識	ラテンのリズムの反復や重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。	＜知-①＞ ラテンのリズムの反復や重なりについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いてリズム伴奏やリズムアンサンブルをつくる技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音楽の仕組みを用いてリズム伴奏やリズムアンサンブルをつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	ラテンのリズムの反復や重なり、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりする。	＜思-①＞ ラテンのリズムの反復や重なり、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりしている。			○	○
	主体的に学習に取り組む態度	リズムや旋律の、反復や重なりに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ リズムや旋律の、反復や重なり興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○			

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
アンサンブルの楽しさ (3 時間扱い・1 月)	知識	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	互いの楽器の音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりする。	旋律やその関わり合い、リズム、楽器の音色や全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、演奏のよさや面白さを見いだして聴いたりしている。	○	○		○

	主体的に学習に取り組む態度	曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	曲想や各声部の役割を捉えた表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		
--	---------------	--	---	---	---	--	--

○＝本評価規準例における中心的な項目

3年 p.52～53

＜コーナー名＞ (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
＜めざせ 楽き名人＞ 「あくびの歌」 「冬さん、さようなら」 (毎時扱い)	知識	リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付く。	＜知-①＞ リコーダーの音色と「かえり道」の演奏の仕方との関わりに気付く。		○		
	技能	音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	＜技-①＞ 音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴き、音を合わせて演奏する技能を身に付けている。		○		
	思考・判断・表現	リコーダーの音色、旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	＜思-①＞ リコーダーの音色、「冬さん、さようなら」の旋律の流れ、掛け合いや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。		○		
	主体的に学習に取り組む態度	リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	＜主-①＞ リコーダーの響きや各声部の役割に合った表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。		○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

3年 p.54～55

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
ききどころを見つけて (3時間扱い・2月)	知識	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付く。	曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴く。	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見だし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	楽器の音色、旋律の特徴や反復と変化に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目

題材名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	題材の評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
みんなで合わせて (3時間扱い・2～3月)	知識	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付く。	曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりに気付いている。	○			
	技能	互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付ける。	互いの歌声や伴奏を聴いて、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けている。	○	○		
	思考・判断・表現	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつ。	旋律やリズム、楽器の音の響きや重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	○	○		
	主体的に学習に取り組む態度	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	音を合わせて演奏することに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、1年間の学習を生かして、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○		

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈音のスケッチ〉 音のひびきや 組み合わせを楽しもう (2時間扱い・3月)	知識	各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付く。	〈知-①〉 各楽器の音色や響きの長短、演奏の仕方、楽器の組み合わせやフレーズのつなげ方などについて、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて気付いている。			○	
	技能	音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付ける。	〈技-①〉 音楽の仕組みを用いて音楽をつくる技能を身に付けている。			○	
	思考・判断・表現	楽器の音色や響きの長短、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。	〈思-①〉 楽器の音色や響きの長短、リズムを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、どのようにまとまりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。			○	
	主体的に学習に取り組む態度	素材ごとの楽器の響きの違いを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 素材ごとの楽器の響きの違いを楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。			○	

○＝本評価規準例における中心的な項目

コーナー名 (扱い時数・扱い月のめやす)	観点	目標	学習活動に即した評価規準例	歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞
〈物語の音楽を楽しもう〉 「ピーターとおおかみ」 (2時間扱い・随時)	知識	曲想と音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付く。	〈知-①〉 各キャラクターのテーマの曲想と、音色や旋律など音楽の構造との関わりに気付いている。				○
	思考・判断・表現	楽器の音色、旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴く。	〈思-①〉 各楽器の音色、「ピーターとおおかみ」の各旋律の特徴、強弱や速度の変化を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさ、面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲のよさを見いだし、曲全体を味わって聴いている。				○
	主体的に学習に取り組む態度	各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	〈主-①〉 各キャラクターの表現や、物語の音楽を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。				○

○＝本評価規準例における中心的な項目